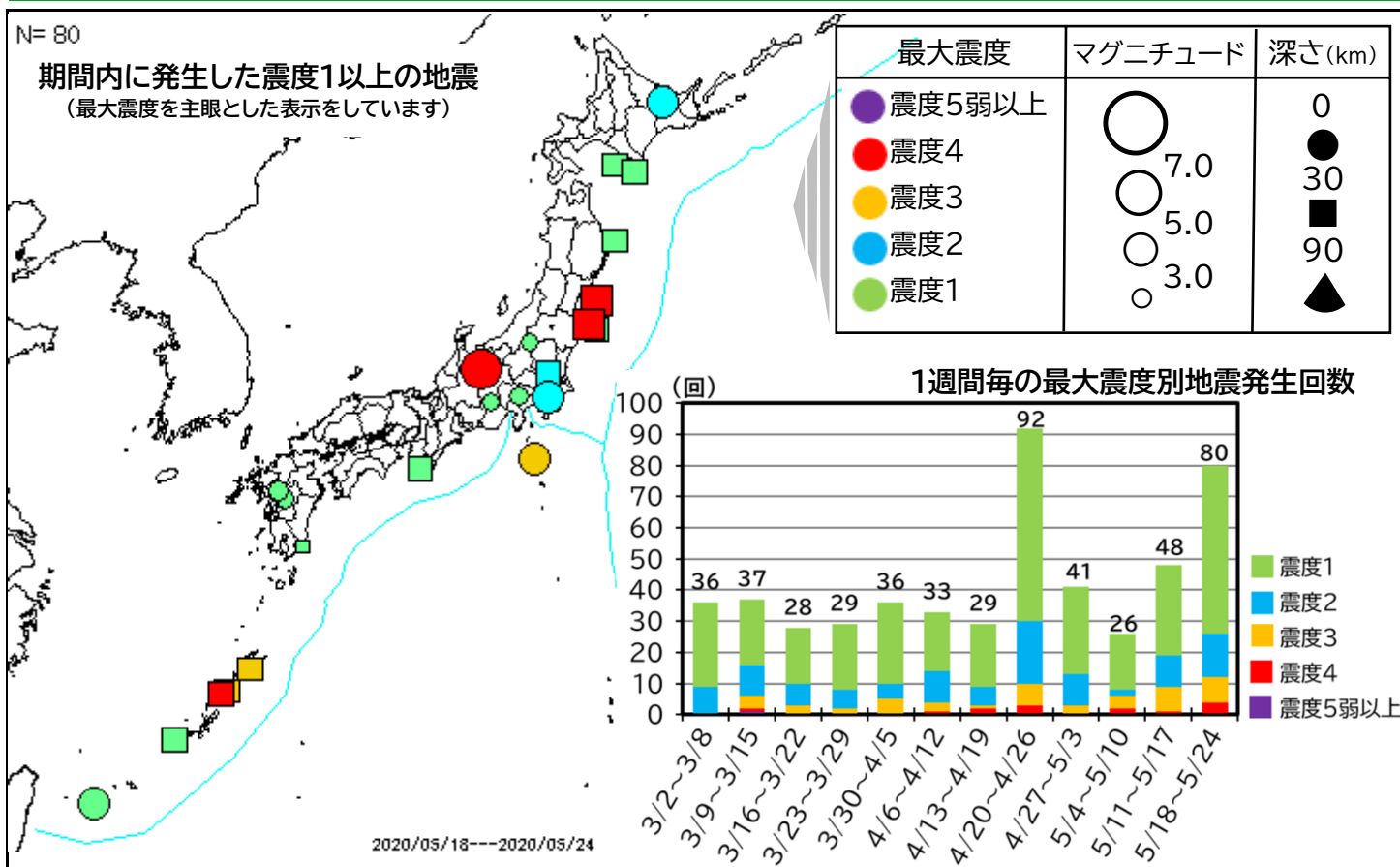


この期間の最大震度は4、長野・岐阜県境は消長を繰り返し継続、東京湾で頻発

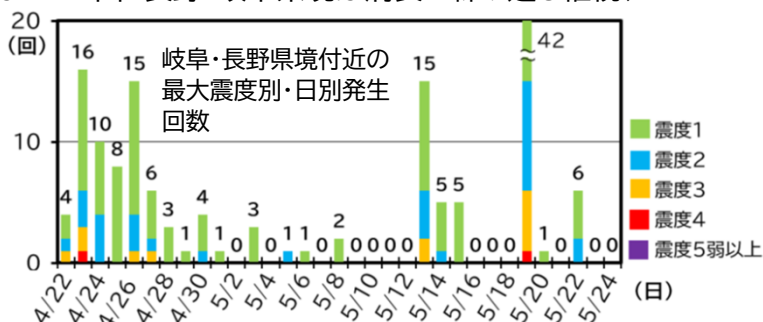
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

■ この期間、震度1以上の地震が80回発生。最大震度は4が4回 長野・岐阜県境は消長を繰り返し継続、東京湾で頻発 ■

- ・19日12時17分に福島県沖で発生した地震(M5.4、深さ50km)により、宮城県及び福島県で震度4を観測。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。
- ・19日13時12分に岐阜県飛騨地方で発生した地震(M5.4、深さ3km)により、岐阜県高山市で震度4、長野県松本市で震度3を観測。この地震は横ずれ断層型で地殻内で発生。この地震は4月22日から継続している(震源地名が長野県中部も含む)もので震度1以上を観測する地震が消長を繰り返しながら継続(図参照)。
- ・20日~22日にかけての東京湾の地震はトピックス参照。
- ・23日04時33分に沖縄本島近海で発生した地震(M4.9、深さ48km)により、鹿児島県天城町で震度4を観測。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生。



トピックス

東京湾の地震

- ・20日~22日にかけて東京湾で震度1~2の地震が7回発生。これらはフィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生と推測。
- ・東京湾の過去の発生状況は図表のとおり。図は震度観測環境が現在のレベルとなった2000年以降に東京湾の地震により震度1以上を観測した地震(深さ40km以浅)の震央分布図。表は図の地震の時間経過を縦軸に計測震度で表したものの。
- ・表から分かるように2011年3月~4月にかけて21回、2015年12月に5回などのように時々短期間に震度1以上の地震が連発することがある。

